

CLOSE UP!



矯正歯科

ライフステージに合わせた咬み合わせ治療

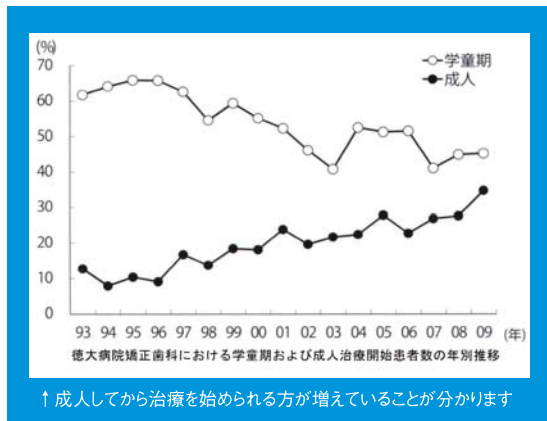
○ 矯正歯科とは

矯正歯科とは、悪い歯ならびを治す診療科です。80歳で20本以上ご自身の歯が残っている方を8020達成者と言います。8020達成者を対象に行われた調査によると、歯を長く健康に維持するためには、良好な咬み合わせが大切であることが報告されています。徳大病院の矯正歯科では0歳児から成人、最高齢では70歳までの治療実績があり、ライフステージに合わせた咬み合わせの治療を行うことで、快適で健康な生活を送るお手伝いをしています。近年では目立ちにくい装置も使用され、成人してから治療を開始される患者さんが増えています。

- 齙生(がたがた) ● 下顎前突(受け口)
- 上顎前突(出っ歯) ● 開咬(オープンバイト)

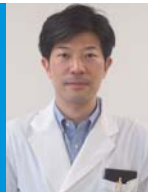
などが原因の咀嚼障害・審美障害でお悩みの方は…

矯正歯科へ!



↑ 歯の裏側に装着するタイプの装置。歯列矯正中とは一見分かりません

大学病院の矯正歯科として形成外科との連携による唇顎口蓋裂患者さんの矯正歯科治療に実績があります。四国で唯一の大学病院矯正歯科であるため、徳島県内はもとより四国全域や淡路島からも患者さんが受診され、医科歯科連携のチーム医療による出生直後から成人期まで治療が行われています。



■説明は、
川合 暢彦
(かわい のぶひこ)
外来医長

【お問い合わせは】
矯正歯科外来
Tel.088-633-7373

○ 費用は? 治療期間は?

矯正装置により歯や顎に力をかけてゆっくりと動かしていくので、マルチブラケット装置を使用した一般的な永久歯の治療で月に1度の来院で2年半程度かかります。また、成長期から治療を開始した場合、永久歯にはえ変わるのを待ってマルチブラケット装置による治療を開始しますので、そうした意味では長期的な治療と言えます。ただし、学童期などの早期に治療を開始することで、治療に成長発育を利用しながら、同時に成長への障害となる部分を取り除いていくことができるメリットがあります。また、矯正歯科治療の多くは自費診療ですので、患者さんの負担は大きいですが、一部の先天異常を伴う治療や顎の手術を伴う治療には健康保険による診療が可能ですので、ご相談ください。

○ 最新の治療法をご紹介します

近年、歯科矯正用アンカースクリューが矯正歯科治療で活用されており、効率的な歯の移動が可能となっています。大変便利なアンカースクリューですが問題点としては比較的高い脱落率があげられます。当院ではこの欠点を解消するため緩みにくい形状の器具を開発し、2017年夏より発売を予定しています。



徳大病院
矯正歯科の
開発した
アンカースクリュー



患者さんへ一言

矯正歯科治療には、「痛そう」「高そう」といった不安や、いつから治療を始めたらいいのかといった疑問を多くお持ちだと思います。そうした不安や疑問に、患者さん一人ひとりに合った治療プランとともにお答えしますので、お気軽にご相談ください。なお、本特集と同じテーマの大会を当科主催で開催いたします。

【大会HP】
<http://chu-shikoku.orthodontic.jp/meeting/60/index.php>

第60回 中・四国矯正歯科学会大会

【テーマ】ライフステージにおける矯正歯科医の役割
会期/平成29年7月16日(日)・17日(月・祝日)
会場/あわぎんホール(徳島県郷土文化会館)
大会長/田中 栄二

徳島大学大学院歯科薬学研究所
口腔顎顔面矯正学分野 教授